

第 339 回

エフエム石川放送番組審議会議事録

議 題

業務概要の報告

試聴と質疑・意見交換

令和 6 年 11 月 6 日

株式会社エフエム石川

第 339 回エフエム石川放送番組審議会

1. 開催年月日・開催場所
2024年9月25日（水） 午後2時～
香林坊ラモーダ 9F

2. 委員の出席
総委員数 6名
出席委員数 5名

出席委員の氏名（50音順）

委員長 : 柳澤良一

委員 : 工藤彩子、久保 勉、平木孝志、宮川昌江

4. 議題
業務概要の報告
番組試聴と質疑・意見交換

議事内容

[業務概要の報告]

防災の日にあたる9月1日に「防災ハンドブック2024」を発行したことが報告されました。2005年から毎年発行しており、20回目となる今年の発行部数は3万部で県内の中学1年生と小学4年生に学校を通じて無料で配布しています。

番組に関しては9月28日土曜日の午後1時からイオンモール白山1階かがやきステージで全国38曲ネット生放送で「JA全農 COUNTDOWN JAPAN 公開生放送 in 石川」が放送され、100名の方を観覧席に招待したことが報告されました。またイベントとしては9月21日土曜日に「JFいしかわプレゼンツ 能登を応援！親子おさかな料理教室」が行われ9組18名の方が参加したこと、22日日曜日には「今すぐ知りたい新 NISA 女性のためのマネーセミナー すぐに使えるお金の貯め方と家計節約術」が行われ42名の方が参加したことが報告されました。

[番組の試聴と質疑・意見交換]

(1) 【試聴番組】

タイトル：はせひろし 隣は何をする人ぞ

放送日時：2024年9月11日(水) 18:00～18:20

出演：馳 浩(石川県知事)

木村雅幸(FM石川アナウンサー)

(2) 【番組内容】

月曜～木曜の夕方放送の自社ワイド番組『-Sunset Express-MOVE』のパーソナリティ木村雅幸が大学の先輩である馳浩石川県知事を迎えて、その人柄に迫りながら県政に取り組む知事の思いを多くの県民に知って頂くという番組です。番組タイトルは松尾芭蕉の名句を捩ったもので、隣の住人に思いを馳せる松尾芭蕉の人間的な温もりが、被災地を含め県民を思いやる知事のマインドに通じるものがあるのではないかという意図で用いられています。番組では知事の思い出のリクエスト曲も放送しています。番組は放送翌日の9月12日午前8時半から再放送し、夕方と朝という通勤時間帯に放送することでより多くの聴取者に届くようにしました。

(3) 【委員の意見】

- ・知事の人柄や思いを県民が直接聞くことができ面白い取り組みだと思えます。文学部ご出身で星稜高校の先生からプロレスラーとなったことなどご本人の口から聴くのはとても納得できるので良いと思います。再放送も聞きました。再放送によってより沢山の人が聞いたのは良かったと思います。能登の人に伝

えたいことについて分かりやすい言葉で伝えられていなかったことは残念に思いました。私立大学との連携でお祭りへの参加を考えていらっしゃるのは大変良いと思いました。これは是非実現してもらえればと思います。この番組は何回か続けていただき、知事が思っていることを直接ご本人の口から聞きたいと思いました。

- ・この番組が単発なのか続くのかで評価が変わってくると思います。県民の誰もが知っている県知事のご登場なので、聴く人によって何を聞きたいかが変わってきます。今のタイミングでは地震からの復旧・復興を聴きたいと感じるリスナーが多かったと思います。次回があるのであれば、予告があると良いです。木村アナウンサーとのやり取りがぎこちなく聴こえるのは、知事が相槌を打たないなど話し方のクセに理由があると思います。最後の曲は必要ないのではと思います。
- ・以前にも県議会議員の方がご出演された際に、県政についてもっと県民に伝えれば良いという話になりましたので、今回の知事の出演に期待していました。全体的には県政のことをもう少し話して欲しかったです。地震からの復興について「熊本を参考にして」という下りがありましたが、具体的な内容を話して欲しかったです。知事の話し方で気になる部分もありました。話の内容によって敬語を使ったり使わなかったりもしていたので言葉には気を付けてほしいと感じました。知事は様々なご経験をされていたことが分かり、まだまだ期待する部分が多いにあると感じました。木村アナウンサーとの会話のなかで、まず返事をしないことは気になりました。
- ・主に大学の話や震災の話がありましたが、どちらについても話が触りだけだったのは勿体ないと思いました。学生時代に寄席に通っていたことが意外で驚きました。また国文学部で、高校では漢文・古文を教えていたことはレスリングとのギャップを感じました。また、いつも一句詠まれることについても学生時代からの経緯があるということを知りました。能登の生活文化や地域に根ざす神社・仏閣との関わりや祭りについて考えているという部分に関しては響くものがありました。そのようなこともあり、もっと復興の話を聞きたいと感じました。中央省庁にも人脈があることもあり、それなりに力を発揮されていると思いました。学校の先生・プロレスラー・政治家と沢山のご経歴があるので、もっと深掘りをしてほしいと感じました。番組が続けばもっと県民に伝わる部分があると思います。タイトルについては少し分かりませんでした。

・タイトルを皮肉ると「はせひろし、あなたは何をする人ぞ」という印象を持ちました。知事の人間性を知ることが滅多にないことなのでこうした企画は良いと思います。構成にも飽きさせない工夫がありました。ただ、質問に対しての明確な答えがなかったのは惜しいと感じました。災害に見舞われた能登をこうしたい、石川県をこうしたいという明確な展望を示して多くの県民に協力を仰ぐ絶好の機会だったと思います。もっと大きな視点で放送の中でも述べて欲しかったです。「災害は忘れない時にもやってくる」と放送を聴いている時(豪雨があったので)に思いました。もっと力強い意見を放送で聞きたかったです。今の時点で過去の話は必要なかったと思います。

[議事の概要を公表する場合の日時や内容]

第 339 回番組審議会の議事概要の公表

令和 6 年 10 月 19 日 (土) 19:55-20:00 に放送

掲載書面の備え置き、及びインタット・ホームページへの掲載